

山陰中央新報 しまね女性の活躍応援企業特集に

優良企業として紹介していただきました

3月18日(土)発行の山陰中央新報のしまね女性の活躍応援企業特集に優良企業紹介として弊社の女性活躍推進に向けた取り組みや女性スタッフを取り上げていただきました。



しまね女性活躍応援企業

「しまね女性の活躍応援企業」のロゴマークができました
島根県の花「ばたん」をイメージ、温かみ・色合い・丸みをおびた書体で人に優しい企業を表現しています。



管理職に求められるマネジメント力を説明する徳島氏(左)

ライフスタイルにに応じた男性管理職向けセミナー

島根県内の企業等での管理職に占める女性の割合は11.4%にとどまり、全国平均13.4%を下回っている(2012年調査)。

「あなたのマネジメント力が会社の未来をよくなる」と題した講演で徳島氏は、少子高齢化で労働人口が減り、慢性的な人手不足に陥っている現代において、出産、子育て、介護など、働く上で様々な制約がある社員を受け入れられる企業だけが「生き残れない」と断言。かつては部下の能力の把握だけで事足りた管理職に求められるマネジメント力について、制約や価値観など、社員個別の事情を踏まえた、的確な業務分担を指示する能力が求められると強調した。

このほか、ノー残業デーなど職場環境の改善を成功させる上では、強制的に全員に参加させることが効果的であることを説明し「特別を認めない徹底した取り組み

を推進していくためには、多くの男性管理職の意識改革が不可欠。このため、しまね働く女性きらめき応援会議などが9日、NPO法人アサザリソング・ジャパン理事の徳島康之氏を講師に招いた「女性活躍推進のための男性管理職向けセミナー」を松江市内で開催し、県内の男性経営者や管理職など33人が参加した。

講演後、参加者はグループに分かれて、職場の課題解決に向けたワークショップを実施。職場の課題を書き出した上で、それに対する解決策をコンサルタント役となつて指導する内容で、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)がうまくいっていない場合は、管理職が部下にあいさつをしていないなど、そもそもコミュニケーション不足に理由があるのでは」「女性管理職を積極的に起用して、女性社員が相談しやすい環境を作ったどうか」「有給休暇の取得を促すためには、取得申請書から理由の欄を削除してはどうか、様々なアイデアが出た。

参加者の一人は「変わらないといけないのは私たち管理職。環境や時代のせいにはせずに、こちらから社員の輪の中へ入っていくしかない」と話した。

課題解決に向けて意見交換

ワークショップでまとめた意見を発表する参加者

広がる女性活躍推進の取組 しまね女性の活躍応援企業

島根県では女性活躍推進に向けて積極的に取り組む企業団体を「しまね女性の活躍応援企業」として登録し、その魅力アップを応援している。

現在は建設業やサービス業など37社3団体が登録しており、女性の採用や女性管理職比率の上昇、キャリアアップ支援の充実など、具体的な行動計画や数値目標を策定。県では行動計画策定を支援するために無料でアドバイザーを派遣するほか、登録企業を県ホームページや企業説明会などで「女性活躍を応援する企業」として紹介している。

環境整備補助金を募集中

また、応援企業のうち、中小企業や団体が女性を対象とした人材育成セミナーの開催や女性専用休憩室の整備など、行動計画の実現に向けて取り組む場合、経費の一部を助成する補助制度を設けている。現在、補助金の募集を行っており締め切りは4月28日。

県男女共同参画室の田中麻里子室長は「女性が活躍できるということは、男性も働きやすくなるということです。応援企業が取り組んでいる職場環境の整備は、社員の意欲を高め、業績の向上にもつながっていると聞いています。登録企業団体を増やして、女性活躍推進の取り組みを全県に広げていきたいと思います」と話している。

「しまね女性の活躍応援企業」一覧

- ※掲載企業は、島根県産業労働政策課の行動計画策定を公表している企業です。
- 企業登録(37社)
- 株式会社山陰合同銀行(松江市)=金融業
 - モルツウェル株式会社(松江市)=小売業
 - 株式会社島根銀行(松江市)=金融業
 - 株式会社バイタルリード(出雲市)=建設コンサルタント
 - 株式会社長岡塗装店(松江市)=建設業
 - 国立大学法人島根大学(松江市)=学校教育
 - 掛合タクシー(雲南市)=旅客運送業
 - 島根県農業協同組合(松江市)=複合サービス業
 - 公益財団法人しまね女性センター(大田市)=サービス業
 - 医療法人佐藤クリニック(松江市)=医療
 - 石月食品株式会社(浜田市)=食品製造業
 - 株式会社金井工務店(松江市)=建設業
 - 有限会社高浜印刷(松江市)=総合印刷業
 - カナテック工業株式会社(松江市)=建設業
 - アサヒ工業株式会社(松江市)=建設業
 - 有限会社Willだん(松江市)=教育事業、WEB制作、女性地域支援
 - 株式会社アート(松江市)=総合イベント業、レンタル業
 - 高橋建設株式会社(益田市)=土木建設業
 - 森下建設株式会社(江津市)=建設業
 - スリーハートリフレ(松江市)=サービス業
 - 有限会社石田工務店(江津市)=建設業
 - 有限会社シャルル(松江市)=小売業
 - 有限会社木次ファーム(雲南市)=畜産農業
 - 一畑電気鉄道株式会社(松江市)=サービス業
 - 久文建設株式会社(出雲市)=建設業
 - 株式会社鶴ヶ原(浜田市)=飲食業
 - 合同会社カシュカシュ(出雲市)=サービス業
 - 企業警備保障株式会社(松江市)=サービス業
 - 雲南建設株式会社(雲南市)=建設業
 - 島根ナカバヤシ株式会社(出雲市)=製造業
 - 社会福祉法人せんだん会(安来市)=社会福祉業
 - 社会福祉法人雲南市社会福祉協議会(雲南市)=社会福祉業
 - 三光ビル管理株式会社(益田市)=ビルメンテナンス業
 - 東京靴株式会社(松江市)=小売業
 - 大畑建設株式会社(益田市)=建設業
 - 松江土建株式会社(松江市)=建設業
 - パール歯科(浜田市)=医療
- 団体登録(3団体)
- 島根県「道の駅」交流会(出雲市)
 - 日本塗装工業会島根県支部(出雲市)
 - 島根県ビルメンテナンス協同組合(松江市)



女性の活躍で 職場の 魅力アップ!

しまね発! 女性きらめきカンパニー

3.1X山陰中央テレビ

企業の魅力アップは女性の活躍から!
女性の働きやすい環境について考えてみませんか?

放送日時
3月19日(土) 8:30~9:00

出演者
すやまとしお 布野まちこ 松島彩 江上敬子(ニッポン)



職場の課題解決について話し合う参加者

1. バイタルリード 出雲市

初めて女性社員が入社した12年前に、就業規則改正に着手。仕事と子育てを両立するために要望を挙げてもらい、フレックスタイムや時短勤務などを導入した。この女性社員は、間もなく第3子を妊娠したが「長く勤めてほしい」という会社の思いを感じ、安心して働けた」と振り返る。

現在社員の6割が女性で、大半が子育て中。パート職員の育児休暇制度を設けたほか、看護目的の在宅勤務や男性職員の育児中の遅出勤務など、個別のケースにも柔軟に対応し、働きやすい環境づくりを進めている。

現在27.3%の女性管理職比率を3割以上に引き上げる目標を掲げており、森山昌幸社長は「女性が活躍できる環境整備は、会社全体の活性化にもつながる」と期待を込める。

2. モルツウェル 松江市

食品製造の現場では力仕事につきもの。7割以上を占める女性社員の負担軽減のため、島根県の補助金を活用し、調理機材の軽量化や食材運搬用カートなどの導入を進めている。長時間労働改善にも着手し、社員の意見を取り入れて業務量を可視化するシステムを1年前に導入。人員の適正配置などにつなげ、全社の月間の残業が200時間削減できたという。

管理職とパート社員の茶話会や誕生会などを企画し、風通しのよい職場環境づくりに努める。子育て世代の男性管理職が率先して育児休暇を取得するなど、部下の仕事と生活の両立を後押しする「イクボス」の輪も広がっている。野津昭子専務は「社員のワークライフバランスを考え、それぞれのキャリアと人生を応援したい」と話している。

3. 高浜印刷 松江市

2017年3月、パソコンが並ぶオフィスフロアの一角をガラスで仕切り、「キッズルーム」を開設した。急病になった子どもを保育所に迎えに行った場合や、病後児保育に預けることができなかった場合に、まるまる休暇を取らなくても一時的に子どもを見守ることができる場所だ。ガラス越しに遊んでいる子どもに目を配りながら、急ぎの仕事を手片付けることができる。

核家族化が進み、子育てに周囲の協力が得られにくくなり、結婚・出産を機に離職する女性が増えたことが、開設のきっかけ。今後行政サービスの隙間を埋めるような制度を整え、女性社員の増加を図る考えで、高浜澄子専務は「手が届くことに、すぐに対応できるのは中小企業の強み。社員に寄り添い、働きやすい職場づくりを進めていきたい」と話している。

■福井のり子さん
(30歳、入社6年目)
静岡出身で、大学は岡山。縁のない島根に就職したのは女性が働きやすい職場環境も要因でした。キャリアアップ、研究に支障はなく、やりがいのある仕事が出来てきています。



■大下朱美さん
(24歳、入社2年目)
保育所の栄養士から転職し、高齢者施設向けの献立作成を担当しています。昨年結婚しましたが、男性管理職も積極的に育児休暇を取られている。男女関係なく働きやすい雰囲気です。キャリアと家庭を両立している職場だと思います。



■濱田昌美さん
(34歳、入社5年目)
第一子を出産し、4月から職場復帰する予定。出産・子育てを会社として応援してもらえて、すごくうれしいです。仕事と子育てを両立する、強いお母さんになりたいな。

